

学校名： 安芸太田町T授業

授業者： 筒賀小学校 田村麗子

教材作成者： 各小学校人権担当者

授業日時	令和元年 11 月 14 日 (木)	教科・科目	道徳科
学年・年次	第6学年	児童生徒数	13名
実施内容	どうすればいいのだろう	本時/この内容を扱う全時数	1/1
教科書及び教科書会社	きみがいちばんひかるとき5 光村図書		

授業のねらい (本時の授業を通じて児童生徒に何を身につけてほしいか、この後どんな学習につながるために行うか)

○差別や偏見がいじめなどの問題につながることを理解する。(人権に関する知的理解を深める)

○友達とのやり取りの中で、迷ったり悩んだりする3つの事例を通して、公正・公平に行動するためには、どんな心が必要かを考えさせ、自分の意思を強く持ち、周囲の雰囲気や人間関係に流されず、自分自身に誠実に、正義の実現に努めようとする実践意欲と態度を育てる。

メインの課題 (授業の柱となる、シグソー活動で取り組む課題)

3つのお話から、公正・公平に行動するために何を大事にしたらよいか考えよう。

公正・公平に行動するためには が大事

児童生徒の既有知識・学習の予想 (対象とする児童生徒が、授業前の段階で上記の課題に対してどの程度の答えを出すことができそうか。また、どの点で困難がありそうか。)

3校とも少人数の集団であり、児童は友達と分け隔てなく接することの大切さを感じながら日々過ごしている。しかし、分け隔てしない事が大切だとはわかっているが友達を序列化してみたり、自分本位の価値観で行動したりする場面も見られる。

メインの課題については、5年生で授業をした時には、学習前は具体的な出来事を思い浮かべながら考えていた児童もいたが、「区別しない」「平等にする」「みんなに同じ態度を取る」などの一般的な答えが多く出た。授業の終わりには、3つの話から具体的な事に落としきれながら考えている児童が多くいたが、わかっているが実際に行う事は難しいというジレンマに気づくことは難しかった。振り返り際には、「今までの自分を振り返り」という言葉を入れたので、実際に行動できていなかったことを振り返り、今後頑張っていきたいという思いを書く児童もいた。

6年生でも同じような答えが予想される。中学校では、3校が一緒になることもあり、これから先、身の回りで起きそうな事例をエキスパート活動で出すことで、公正・公平についてより具体的に自分の事として考えられると思う。

期待する解答の要素 (本時の最後に児童生徒が上記の課題に答えるときに、話せるようになってほしいストーリー、答えに含まれてほしい要素。本時の学習内容の理解を評価するための規準)

- ・自分の好き嫌いではなく、誰とでも仲良くすることが大事。
- ・人の気持ちを考える、自分がやられて嫌な事はしないことが大事。
- ・ルールを守って行動し、間違っている時は注意することが大事。

各エキスパート<対象の児童生徒が授業の最後に期待する解答の要素を満たした解答を出すために、各エキスパートで抑えたいポイント、そのために扱う内容・活動を書いてください>

A「サッカー大会」

ブラジルからの転校生ミゲルが、サッカーが上手そうだと思って、ぼくは、サッカー大会に出てくれるように頼んだ。ところがミゲルは次々とミスをした。ぼくがミゲルに「しっかりしてよ。」と言うと、「たのまれたから出たんだよ。」と言った。

○このお話で公正・公平でない行動はどこでしょう。

○どうすれば公正・公平な行動と言えるのでしょうか。

- ・「本人に確認せず自分勝手な思い込みでメンバーを決めてしまった。」
→「出たいと言っていた友達を出すべきだった。」

B「日直の仕事」

ごみすては日直の仕事なのに一平はいつも行成に行かせている。今日、行成は何か言いかけたが結局ごみすてに行った。ぼくは、その様子を見ていたが何も言えなかった。

○このお話で公正・公平でない行動はどこでしょう。

○どうすれば公正・公平な行動と言えるのでしょうか。

- ・「自分の仕事を人に押し付けていることがおかしい。」
→「自分の仕事は自分でやる」
→「ちゃんと自分でやるように言えばよい。」
→「おかしいと思ったことを注意すれば良かった。」

C「ソフトバレー」

休み時間にソフトバレーをしていて、ラインぎりぎりでボールが落ちた。わたしは自分達のチームの方に落ちたのを見たが、言うべきかどうか迷っている。

○このお話で公正・公平でない行動はどこでしょう。

○どうすれば公正・公平な行動と言えるのでしょうか。

- ・「ちゃんと見ていなくて自信がないのに自分の都合がいい方を主張している。」
→「わからないことはわからないと認めて、正々堂々と戦う」
→「見ていたなら正直に言う。」

シグソーでわかったことを踏まえて次に取り組む課題・学習内容

公正・公平に接したいという気持ちをもっていても、人間としての弱さのためにその実現が難しくなるということを理解し、それでも社会正義のために公正・公平に振る舞い、よいと思ったことを強い意志で行おうとする実践意欲をもつ。

本時の学習と前後のつながり

時間	取り扱う内容・学習活動	到達して欲しい目安
これまで		
本時	【主題】公正・公平な態度とは 【内容項目】C公正, 公平, 社会正義 5 どうすればいいのだろう	○自分自身に誠実に、正義の実現に努めようとする。
この後	【主題】公正・公平な社会を目指して 【内容項目】C公正, 公平, 社会正義 3 1 だれもが幸せになれる社会を	○誰に対しても差別や偏見をもつことなく、公正・公平な態度で接しようとする。

上記の一連の学習で目指すゴール

誰に対しても差別をすることや偏見をもつことなく、公正、公平な態度で接し、正義の実現に努める。

本時の学習活動のデザイン

時間	学習活動	支援等
3分	1 本時の学習課題をつかむ。 ○公正・公平について考えていくことを伝える。	<ul style="list-style-type: none"> ・公正、公平の「誰に対しても分け隔てなく接する」という意味を伝える ・学習の流れやスタイルを提示し、視覚的に理解させる。
5分	○学習のめあてを理解する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">公正・公平に行動するためには何を大事にしたらよいだろう</div> ○ジグソーの問題について、現時点での考えを書く。	
7分	2 エキスパート活動に取り組む。 エキスパートA「サッカー大会」 エキスパートB「日直の仕事」 エキスパートC「ソフトバレー」	<ul style="list-style-type: none"> ・エキスパート活動に移る前に見通しを持たせる。 ・限られた時間の中で、話し合いが進むように声かけをする。 ・児童同士の関わり合いを重視する。
10分	3 ジグソー活動に取り組む。 ○担当したエキスパート資料について報告し、考えを交流する。 ○交流で得られたことを生かして、公正・公平に行動するために大事なことを考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・報告だけにとどまらないで、質問や意見など発言が活発になり、道徳的価値に迫れるように、話し合わせる。
15分	4 クロストークを行い、意見を交流する。 ○各グループで意見を出し合う。 ○振り返りの前にジグソー班で公正・公平について再度考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれのグループで話し合ったことをキーワードで発表させる。 ・児童の意見を生かし、話し合いをコーディネートしていく。 ・事例だけにとどまらないように資料離れを図り、道徳的価値を一般化させる。
3分	5 学習の振り返りをする。 ○本時で学んだことを考えワークシートに書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の生活と照らし合わせ、「今まで・これから・学んだこと」などのキーワードを入れるようにさせる。
2分	6 本時のまとめをする。	

グループの人数や組み方

エキスパートは2人×5グループ、3人×1グループ構成、
ジグソーは3人×3グループ、4人×1グループ構成で行う。

サッカー大会

ミゲルはブラジルから来た転校生だ。自己しょうかいのとき、サッカーが好きだと言っていたし、なんだか運動神経がよさそうだった。そこで、ぼくは、子ども会のサッカー大会に出てくれるようにたのんだ。本当は、他にも出たいと言っている友達がいたのだが、ぼくはどうしても勝ちたかったから、その友達よりもミゲルを選んだ。

ところが、かつやくを期待していたミゲルが次々とミスをした。ぼくは思わず、「ミゲル、しっかりしてよ。」と、大きな声を出してしまった。



するとミゲルは、「たのまれたから出たんだよ。」と言った。ぼくは、はっとした。

○このお話で公正・公平でない行動はどこでしょう？

○どうすれば公正・公平な行動と言えるでしょう。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

日直の仕事

「ねえ、行成。ごみすてに行ってきてよ。」

一平が、いつものように言った。ごみすては日直の仕事なのに、一平と仲のいい、良人や友春が日直になったときは、必ず代わりに、行成をごみすてに行かせるのだ。今日、行成は何か言いかけたが、結局「いいよ。」と言って、ごみ箱を持って教室を出ていった。ぼくは、その様子を見ていたが、何も言えなかった。



○このお話で公正・公平でない行動はどこでしょう。

○どうすれば公正・公平な行動と言えるでしょう。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

一平、ぼくは、どうしたら良かったのだろう

ソフトバレー

休み時間にソフトバレーボールをしていたときのこと。相手チームから返ってきたボールが、わたしたちのコートの中に、ラインぎりぎりで落ちるのが見えた。ところが、同じチームのみんなは、ボールはラインから外に出ていたと主張した。コートの中に入っていたのをはっきりと見たのはわたしだけのようだ。もちろん相手チームの人たちは、コートの中に入っていたと主張した。

「そんなことはないよ。絶対ラインから出ていたよ。ねえ、みんな。」
と同じチームの七実が言うと、みんなも、

「うん。出ていたよ。」と、口々に言った。

わたしは、ボールはコートの中に入っていたと言うべきかどうか、迷っている。



○このお話で公正・公平でない行動はどこでしょう。

○どうすれば公正・公平な行動と言えるでしょう。

.....

.....

.....

.....

.....

みんな、わたしは、どうしたら良かったのだろうか

